

試験ガイド

中小企業診断士になるまでには、1次試験・2次（筆記・口述）試験、実務補習・実務従事の3段階のステップがあります。

※当案内は2011年度試験実施例を基に作成しています。試験要項は、例年試験実施年度の4月上旬～5月上旬に発表されます。

第1次試験

8月

企業経営やコンサルティングに関する
基本的な知識を問う試験

1次試験は、**中小企業診断士に必要な知識を有するかどうかを判定することを目的**とし、マークシート形式により行なわれます。なお、他の国家資格の合格者などに対しては、申請により試験科目の一部免除が認められています。

- 試験実施科目：7科目
- 試験問題形式：マークシート形式による多肢選択式
※四肢択一または五肢択一

1次試験概要

1次試験科目ガイドは▶▶▶▶▶24ページ

合格基準の詳細（具体例）は▶▶30ページ

第2次試験

合格

筆記試験〈10月〉+口述試験〈12月〉

企業の問題点や改善点などに関して
解答する筆記試験と面接試験

2次試験は、**中小企業診断士に必要な応用能力を有するかどうかを判定することを目的**とし、中小企業の診断及び助言に関する実務の事例並びに助言に関する能力について、筆記および口述の2段階の方法により行なわれます。

- 試験実施科目：《筆記》4科目
《口述》筆記試験出題内容をもとに4～5問出題
- 試験問題形式：《筆記》各設問15～120文字程度の記述式
《口述》10分程度の面接

2次試験概要

筆記試験	受験資格	1次試験合格者 ●1次試験合格（全科目合格）年度とその翌年度に限り有効 ●2000年度以前の1次試験合格者は1度に限り有効		
	試験実施日	10月中旬～下旬（2011年度は10月23日（日））		
	試験科目	試験科目	時間	配点
		【事例Ⅰ】組織（人事を含む）を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
		【事例Ⅱ】マーケティング・流通を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
		【事例Ⅲ】生産・技術を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
		【事例Ⅳ】財務・会計を中心とした経営の戦略および管理に関する事例	80分	100点
口述試験	実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡 （2011年度）		
	筆記試験結果発表	12月上旬（2011年度は12月9日（金））		
	受験資格	当該年度の2次筆記試験合格者 ※口述試験を受ける資格は当該年度のみ有効であり、翌年に持ち越すことはできません。		
	試験実施日	12月中旬（2011年度は12月18日（日））		
	実施方法	中小企業の診断及び助言に関する能力について、筆記試験の事例などをもとに、個人ごとに面接		
	実施時間	約10分間		
	実施地区	札幌・仙台・東京・名古屋・大阪・広島・福岡 （2011年度）		
合格基準	合格基準	筆記試験における総点数の60%以上で、かつ1科目でも満点の40%未満がなく、口述試験における評定が60%以上であることを基準とする。		
	合格の有効期間	2次試験合格後、3年以内に実務従事・実務補習を受ける必要がある。		
	受験料	17,900円（税込）（2011年度）		

2次試験科目ガイドは▶▶26ページ

実務補習・実務従事

登録

2月・3月・7月・8月・9月

コンサルティングの実践

実務補習・実務従事は、**中小企業診断士として診断実務能力を有するかを実務を通して判断することを目的**とし、第2次試験合格後、3年以内に実務補習を15日以上受けるか、実務に15日以上従事することにより、中小企業診断士としての登録の申請を行なうことができます。

実務補習・実務従事概要

(1) 実務補習

①登録実務補習機関による実務補習

受講資格：中小企業診断士第2次試験合格者の中で、3年を経過していない方。

実施期間／実施地区 （2010・2011年度例）		札幌	仙台	東京	名古屋	大阪	広島	福岡
2011年	2/ 3（木）～2/14（月） （5日間コース）	○	○	○	○	○	○	○
	2/ 3（木）～3/14（月） （15日間コース）	○	○	○	○	○	○	○
	6/30（木）～7/11（月） （5日間コース）	○	○	○	○	○	○	○
	8/19（金）～8/29（月） （5日間コース）	—	—	○	○	○	—	—
	9/ 9（金）～9/20（火） （5日間コース）	○	○	○	○	○	○	○

※5日間コースを受講される場合には、第2次試験合格後3年以内に3回受講する必要があります。

■実務補習の標準的な流れ（5日間コース例）

実施約1週間前	指導員からメールにて、企業概要の提示や事前準備作業の指示
第1日目～第4日目	グループ別打ち合わせ、企業等の訪問・調査、資料分析、診断報告書の作成など
第5日目	企業等への報告会など（修了証書発行）

※5日間コースは1企業（等）、15日間コースは3企業（等）の実務補習を行う。

- ②受講手数料 5日間コース…50,000円（税込）
15日間コース…150,000円（税込）

③中小企業基盤整備機構、都道府県等中小企業支援センターにおける実務補習

(2) 実務従事

①国・都道府県等、中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う診断・助言業務

②中小企業基盤整備機構または都道府県等中小企業支援センターが行う窓口相談等の業務

③中小企業に関する団体が行う中小企業の診断・助言または窓口相談等の業務

④その他の団体または個人が行う診断・助言または窓口相談等の業務

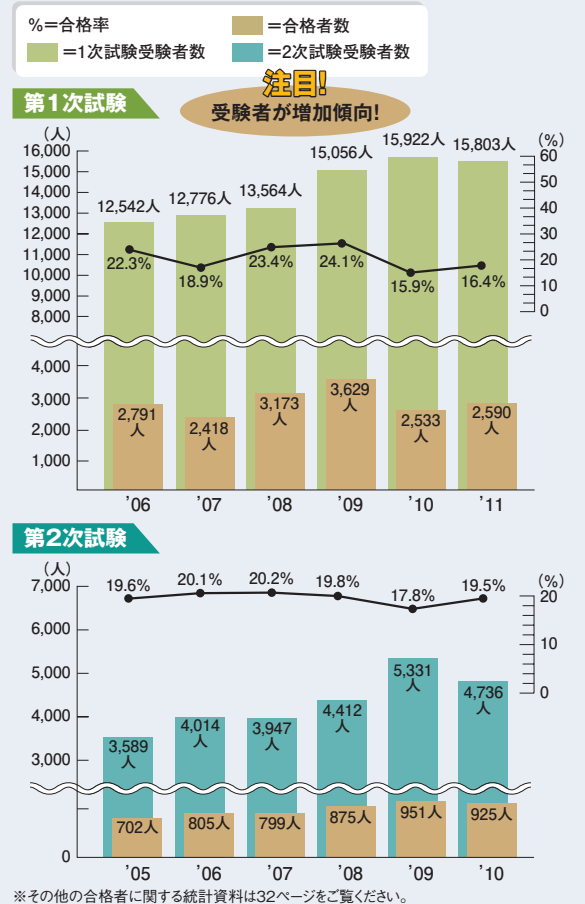
⑤中小企業の振興に関する国際協力等のための海外における業務

合格者の実務補習体験を
TACホームページで公開中!

TAC 診断士 検索

実務補習ガイドは▶▶27ページ

受験者数・合格者数・合格率の推移



他資格等保有による免除対象者 ダブルライセンスに有利

科目免除	科目免除対象者（2010年度試験実施例）
経済学・経済政策	大学等の経済学の教授・准教授・旧助教授（通算3年以上）
	経済学博士
	公認会計士試験または旧公認会計士試験第2次試験において経済学を受験して合格した者
財務・会計	不動産鑑定士、不動産鑑定士試験合格者、不動産鑑定士補、旧不動産鑑定士試験第2次試験合格者
	公認会計士、公認会計士試験合格者、会計士補、会計士補となる有資格者
経営法務	税理士、税理士法第3条第1項第1号に規定する者（税理士試験合格者）、税理士法第3条第1項第2号に規定する者（税理士試験免除者）、税理士法第3条第1項第3号に規定する者（弁護士または弁護士となる資格を有する者）
	弁護士、司法試験合格者、旧司法試験第2次試験合格者
経営情報システム	技術士（情報工学部門登録者に限る）、情報工学部門に係る技術士となる資格を有する者
	次の区分の情報処理技術者試験合格者（ITストラテジスト、システムアーキテクト、応用情報技術者、システムアナリスト、アプリケーションエンジニア、システム監査、プロジェクトマネージャ、ソフトウェア開発、第1種、情報処理システム監査、特種）

※科目免除者および科目合格者は科目免除割引制度をご利用いただけます。詳しくは71ページをご覧ください。

試験・実務補習に関する問い合わせ

社団法人 中小企業診断協会

〒104-0061 東京都中央区銀座1-14-11 銀松ビル5階

TEL 03-3563-0851(代)

ホームページ <http://www.j-smeca.jp/>

●試験要項は、例年4月上旬～5月上旬に発表されます。